

教科（科目）	情報（社会と情報）	単位数	2 単位	学年	2 年次
使用教科書	東京書籍『社会と情報』				
副教材等	なし				

1 学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現して効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育む。

2 指導の重点

- ・デジタル情報やコンピュータによる情報伝達について、基本的なしくみの理解を目指す。
- ・情報の真偽を見抜いて適切に選択し、情報を正しく活用するメディアリテラシーの育成を目指す。
- ・自分の考えをまとめ相手に伝達する力を養う。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	1. 情報を活用する 1 私たちを取り巻く情報 2 アナログからデジタルへ 3 情報の表現と伝達	教科書 ・課題	・メディアの種類と特徴、情報の見極めを学ぶ。 ・2進法, 16進法, デジタル表現を学ぶ。 ・コンピュータによる情報伝達の方法と特徴を知る。 ・効果的なプレゼンテーションを学ぶ。	19	課題 ・前期中間 考査
5					
6					
7	2. ネットワークを探索する 1 インターネットの利用 2 ネットワークと コミュニケーション	教科書 ・課題	・インターネットや電子メール, Web ページ, 検索の 仕組みを学ぶ。 ・メディアの変遷を学ぶ。 ・ネットコミュニケーションの特徴と注意点を学ぶ。	12	課題 ・前期末 考査
9	3. 情報社会の課題を見つける 1 情報化の影響と課題 2 法律と個人の責任	教科書 ・課題	・情報社会における望ましい態度について学ぶ。 ・著作権, プライバシーと個人情報, 情報モラルを理解する。	7	課題 ・後期中間 考査
10	4. 望ましい情報社会に向かう 1 社会における情報システム 2 情報システムと人間 3 情報社会と問題解決	教科書 ・課題	・情報システムの種類と特徴を知る。 ・情報技術による社会変革について学ぶ。 ・課題解決の方法を学ぶ。 ・データの収集・整理と活用について学ぶ。	16	課題 ・後期中間 考査
11					
12	5. コンピュータを活用する 1 コンピュータの仕組み 2 プログラミング	課題	・コンピュータとソフトウェアの仕組みを学ぶ。 ・アルゴリズムとプログラミング的思考を学ぶ。 ・プログラムの基本構造を学ぶ。	16	課題
1					
2					

計 70 時間（50 分授業）

4 課題・提出物等

社会と情報の授業は、情報に関するモラルや理論を学ぶ講義と、基本的な技術を学ぶ実習から成り立っています。授業でのワークシートや、実習で作成した作品を提出してもらいます。また相互評価もしてもらいます。

5 評価基準と評価方法

評価は、次の観点から行います。

（関心・意欲・態度）	（思考・判断・表現）	（技能）	（知識・理解）
情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に使用している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、授業への取り組みと課題の提出状況、定期考査から総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

実習は続けて出席しないと理解につまずき、課題提出が難しくなります。授業は欠席をせず、意欲的に取り組んでください。